

K
A
N
G
O
A
K
I
T
A

看

Vol.161

令和7年度2号

護あきた

令和7年度会員数

保健師	153名
助産師	283名
看護師	5,960名
准看護師	55名
合計	6,451名
(R7.9.16現在)	



[CONTENTS]

今月の表紙：市立秋田総合病院

- 1 シリーズ 施設自慢
- 2 新人ナース紹介
- 3 地区支部活動報告
- 4 安全情報
- 5 秋田県ナースセンターニュース
訪問看護総合支援センター事業報告
- 6 理事会だより・事務局からのお知らせ



series
施設自慢

市立秋田総合病院



救急外来

地域の命を守り続けて —進化し続ける地域医療の最前線—

市立秋田総合病院 看護部長 石川 千夏

市立秋田総合病院は、秋田市の中核医療機関として地域住民の命と健康を守るため、24時間365日体制で救急医療を提供しています。救急外来では軽症から重症まで幅広い症状に対応し、集中治療室との連携により迅速かつ的確な診療を実現しています。2022年には新病院が開院し、より安全で快適な医療環境が整備されました。今後救急体制をさらに強化し、急性期から在宅復帰まで切れ目のない医療を提供していきたいと思っています。当院救急外来ならではの特徴をお伝えします。

当院救急外来は秋田市内唯一小児救急外来を開設しています。夜間・休日にも小児科医師が常勤し急な発熱やけいれんなど、子供の急性疾患にも安心して対応出来る体制を整えています。これは子育て世代にとって大きな安心材料であり、秋田市内問わず、大切な子供たちの健康を守る重要な役割を果たしています。子供たちの“もしも”に24時間体制で小さな命に安心を届けるため、専門性と温かさが融合したケアを提供しています。

毎週火曜日には秋田市消防本部の一個隊が当院から救急出動するワークステーションを運用しています。これにより直接救急現場に当院救急医が出動し救命対応しています。当院救急外来から救

急出動する光景は必見の価値があります。

救急医療人材の育成にも力を注ぎ、救急外来主導で毎年開催される「こまち ICLS」研修では、秋田県全域まで広く受講者を応募しており、救急蘇生技術の習得と現場対応力の向上を図っています。教育と実践が融合した場で、救急医療に携わる方々の成長を後押ししています。

夜間・24時間対応の緊急内視鏡、緊急 PCI 治療体制が確立しており、迅速な医療提供が可能です。専門スタッフによるスムーズな連携が、高い治療成果につながっています。私たちの救急外来は、実績と信頼に裏打ちされた“命をつなぐ現場”であり、熱意と誇りに満ちた場所です。研鑽の機会にも恵まれ、チームの一員として共に学び、挑み、支え合う環境が自慢です。



新人ナース紹介

看護師として働き始め4カ月が過ぎ、患者さんの“いつもと何かが違う”という些細な変化やそれを見ることの難しさを感じました。知識や技術を身に付け、看護師として自分に何が出来るのか、また事前から患者さんの状態を把握しておくことの重要性をより実感しました。看護の基本である笑顔で挨拶する、目線を合わせて会話をする、優しい言葉遣いなど患者さんに寄り添うことで、「〇〇してほしい」「ありがとう、助かったよ」などの言葉を頂けることが増えました。看護師としての責任を日々感じながらも、その日々によりがいや患者さんに関わる楽しさを感じています。今後の目標は、未熟な知識や技術を日々の学びを通して確実に身に付け、臨機応変に対応できるようになること、また、初心を忘れずに、笑顔を絶やさず患者さんが話しかけやすい看護師になりたいです。先輩方からご指導を頂きながら戦力となれるよう向上心をもって精進していきたいです。



田中 衣舞姫さん

平鹿総合病院

看護師として働き始めて4ヶ月が経ちました。働き始めは本当に看護師として働くことができるのかと不安が大きく、環境に慣れることや業務を覚えることに必死になっていました。また、患者さんを受け持ち、その患者さんに必要な看護を提供していく難しさ大変さを感じていました。しかし、先輩方の指導やフォローしてもらいながら安心して働くことができています。

私が所属している回復期病棟では日々患者さんがリハビリテーションに励んでいます。患者さんが回復していく姿を見ることに喜びを感じており、私も患者さんが少しでも回復するよう、関わりたいと考えています。今後も実務経験を重ね、自己学習にも取り組みながら患者さんの役に立てるように努め、迅速に対応できる看護知識・技術を身につけていきたいです。



新垣 菜七さん

中通リハビリテーション病院

中学生のころからの助産師になるという夢を叶えて、4月から元気に働いています。実際に臨床で働き始めてみると、実習で経験した症例は本当にごく一部であり、まだまだ知らないことがたくさんあることに気づかされ、勉強の毎日です。そんな中でも患者さんや妊産褥婦さんからの「ありがとう」という言葉が励みになっています。同時に新人としてわからないことが多い中、優しく指導してくださる先輩方には感謝しています。最近では、一人でできる看護技術が増えてきて、やりがいと嬉しさ、楽しさも感じています。

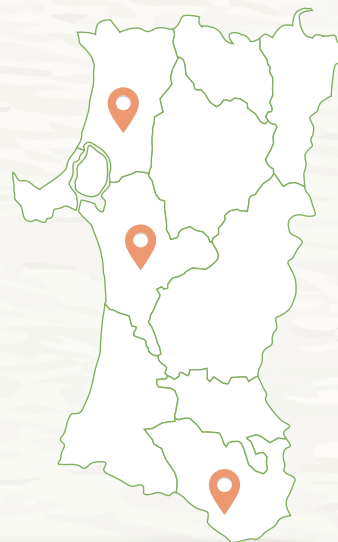
私は、「信頼される心強い助産師」になることが目標です。そのためには、日々の勉強はもちろんですが、知識のみならず多くの症例に関わって経験を積んでいきたいです。そして、最終的にはアドバンス助産師の資格を取得したいと考えています。



菅原 彩夏さん

能代厚生医療センター

地区支部 活動報告



能代・山本 地区支部

地区支部活動について

能代厚生医療センター

能代・山本地区支部 支部長 鈴木 輝子

能代・山本地区支部では、7月25日ふれあい看護体験（一日看護学生）を開催しました。能代高校、能代松陽高校、能代科学技術高校から16名の学生が参加し、JCHO秋田病院、能代山本医師会病院、能代厚生医療センターで看護実習体験をしました。学生からは「今回の看護体験を無駄にせず、進路選択に活かしたい」「明確に決まっていなかった将来の夢に近づけた」等の声が聞かれ、大変うれしく感じました。普段病院に来ても見ることのないバックヤードに入ったことで、医療に関する興味が増したのではないかと思います。今後も色々な工夫をして、医療・看護の素晴らしさを伝えていきたいと考えています。



秋田臨海 地区支部

地区支部活動について

中通総合病院

秋田臨海地区支部 支部長 奥澤 律子



秋田市内4病院で、ふれあい看護体験が開催され、中学生24名・高校生44名が参加しました。院内見学・看護実技体験・看護師との対話から「看護師への憧れが大きくなった」「看護についての理解が深まった」との感想が聞かれ看護師への興味が一層深まったと感じました。

8月26日地区支部情報交流会を開催し64名が参加し、地域連携推進・DXに関する情報・医療MaaSについて発表がありました。活発な意見交換が行われ、地区支部内の医療情勢を知る機会となった事は勿論、自施設への導入について検討する機会となりました。今後も施設間での連携を深め、より良い医療の提供に繋げていきたいと思っています。

湯沢・雄勝 地区支部

地区支部活動について

町立羽後病院

湯沢・雄勝地区支部 支部長 小野 洋子

地域住民との交流により看護の心を伝え、看護協会をPRすることを目的に毎年、湯沢市が主催する「湯沢市ふれあい広場」に参加しています。

今年度も7月6日（日）に雄勝文化会館オービオンで開催されたふれあい広場に参加しました。「湯沢市ふれあい広場」は子供や障がい者、高齢者など地域住民が一堂に会して福祉を体験する中から世代の交流やふれあいを深め思いやりの心を増進するための趣旨で開催されています。小学生のバトンやバレエ演技、太鼓のパフォーマンスなどのステージイベントの他、福祉機器の展示などのコーナーがあります。

私達看護協会は、救護活動を含めた健康相談のコーナーで、地域住民の方への血圧、体脂肪測定を行いパンフレットによる生活指導などを行いました。地域の方々1人1人とふれあい、看護を知ってもらえる半日となりました。



【医療・看護安全委員会】

安全情報

No.46

身体的拘束の原因となることへのケアを見直す

2024年度診療報酬改定で、「身体的拘束を最小化する取組の強化」が挙げられ、精神科病院、精神病室のある病院を除くすべての病棟・病室で身体的拘束を最小化する体制を整えることが施設基準に加わりました。

今回は身体的拘束の原因となる症状で最も多い「転倒・転落の危険性が高い」を例にケアを見直すポイントを紹介します。

転倒・転落の危険性が高い

(1) 基本的な考え方

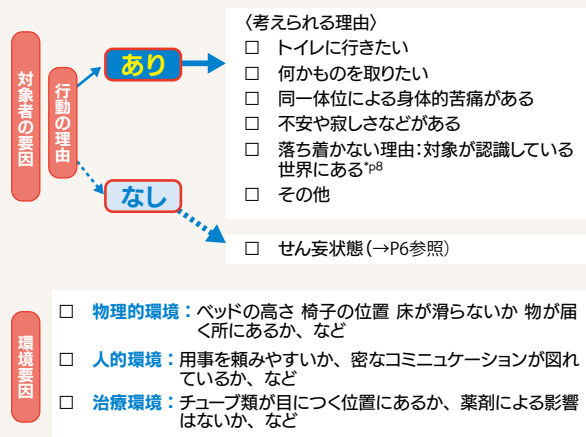
対象者が転倒・転落するとき、せん妄状態にない限り、その多くは対象者なりの行動の理由（例えば「トイレに行きたい」「落とした物を取りたい」「長時間座っていてお尻が痛かった」など）がある。対象者によっては、認知症等により行動理由の言語化が難しい場合、そのことを看護職が察知する必要がある。対象者の行動を予測して、事前に適切な対応や環境を整えていくことが転倒・転落の予防につながる。

(3) 転倒・転落の予防的ケア

- ① 対象者の行動の理由を看護職が受け止める。
- ② 自立的な動作を支援する環境づくりをする。
- ③ 排泄ケアを配慮して行う。
- ④ 心理面への対応とコミュニケーションを良好にする。
- ⑤ 生活リズムの調整をする。

(2) アセスメントの視点

アセスメントに際しては、「対象者側の要因」と「環境要因」の両方から行う



引用文献：日本看護協会機関誌 看護 2024年12月号
一般社団法人日本看護倫理学会 身体拘束予防ガイドライン

秋田県 ナースセンターニュース

秋田県ナースセンターは、
看護職の人材確保を目指して、
就労促進、復職支援等を行っています。

ナースセンターは

1

自分に合った職場探しのお手伝いをしています

秋田県ナースセンター（看護職等の無料職業紹介所）は、看護職・看護補助者の皆さんに、自分に合った職場探しのお手伝いをしています。秋田アトリオン 1 階にありますので、お気軽にお越しください！相談員一同お待ちしております。

→月～金 9:00～16:00 予約不要(第2、4土曜日可)

2

復職実技研修・復職を目指す方の研修・
看護師を続けてもらうための研修を行っています

今回は、右記の研修会をご案内します。現在、病院や、クリニック、介護施設等にお勤めの方も対象ですので、是非ご参加ください。先輩プラチナナースの体験談は皆様の、これからの働き方のヒントになるかと思います。

(manaable からお申し込みください)

お問い合わせは TEL 018-832-8810

11/13
開催



訪問看護総合支援センター事業報告

訪問看護スキルアップ研修：呼吸器関連編 ●会場：県北 ●7月26日開催 ●12名

【参加者の感想】：

- ・呼吸のメカニズムや観察の苦手意識があったが、押さえておくポイントを知ることができた
- ・フィジカルアセスメントを見直し、実践していきたい。
- ・とても分かりやすく、フィジカルアセスメント・解剖について学びを深めることが出来た。



訪問看護インターンシップ・訪問看護医療機関相互研修

人材確保事業として実施しています。

●訪問看護インターンシップ：2名 ●医療機関、訪問看護相互研修：1名

【参加者の感想】：

2日間の研修で精神患者さんへの関わりが予想していたより多いことを知りました。また独居の生活困難者をケアマネジャー、多職種と連携をとり関わっている事も知りました。要介護5の方への経管栄養や、清拭等も経験でき利用者と家族に寄り添いながら訪問されている姿が心に残りました。訪問看護を目指すきっかけになりました。

訪問看護事業所開設支援

7月に能代山本地区に2事業所が開設しました。

訪問看護資質向上支援

今年度よりe-ラーニング受講サポートを開始しました。県内23事業所、訪問看護経験5年未満の方が受講しています。

理事会だより

第1回 令和7年5月21日(水)

1 議 事

- 1) 令和6年度事業報告(案) …………… [承認]
- 2) 令和6年度末における特定資産の積立(案) …………… [承認]
- 3) 令和6年度決算書(案)(監査報告) …………… [承認]
- 4) 令和8年度秋田県看護協会通常総会の日程(案) …………… [承認]
- 5) 諸規程の一部改正(案) …………… [承認]

2 協 議

- 1) 日本看護協会への要望
- 2) 令和7年度秋田県看護協会通常総会の運営、進行シナリオ(案)

3 報 告

- 1) 日本看護協会理事会報告

第2回 令和7年6月18日(水)

1 議 事

- 1) 副会長等の役員の選定 …………… [承認]
- 2) 会長臨時代理の選定 …………… [承認]
- 3) 専務理事及び常務理事の業務分担(案) …………… [承認]
- 4) 常務会の構成員の選任 …………… [承認]
- 5) 認可長に提出する事業報告等 …………… [承認]
- 6) 令和7年度補正収支予算書(案) …………… [承認]

2 報 告

- 1) 令和7年度秋田県看護協会及び日本看護協会行事・事業日程
- 2) 秋田県看護協会事務局組織図等
- 3) 令和7年度ふれあい募金事業に係る社会福祉施設等の選定

INFORMATION

事務局からのお知らせ

11月

「地域看護体験プログラム」を通して 医療・介護・福祉の看護連携の推進を図ろう!!

(看護師職能Ⅱ)

- 日時：11/13(木) 13:30～16:00
- 会場：秋田県総合保健センター
2F 第1研修室
- 申込〆切：11/6(木)17:00

看護職の夜勤交替制の負担軽減に 向けた取り組み

(看護職員の労働安全衛生交流会)

- 日時：11/28(金)13:30～16:00
- 会場：秋田県総合保健センター
2F 第1研修室
- 申込〆切：11/21(金)17:00

12月

改訂された保健師活動指針を どう現場に活かすか

(保健師職能集会)

- 日時：12/10(水) 13:00～16:00
- 会場：秋田県総合保健センター
5F 第1研修室
- 申込〆切：12/1(月)17:00

1月

個別事例の支援を通して、地域に潜在する 健康課題を発見し、課題への対応力を高める

(新任保健師の集い『研修会・事例検討会』)

- 日時：令和8年1/20(火) 10:00～16:00
- 会場：秋田県総合保健センター
5F 第1研修室
- 申込〆切：令和8年1/13(火)17:00

秋大附属病院専門・認定看護師会

第4回

Nursing! 双方向オンライン



申込はこちら▼

日 時 | 2026年1月23日(金) 17:30~19:00
会 場 | オンライン会議システム「ZOOM」 参加費無料
対 象 | 秋田県の輝いている 看護管理者 & 看護師
内 容 | 各専門・認定分野の担当者と参加者が、自由に
意見や経験を共有し合う双方向の情報交換の場です

詳細はこちら▼



締切：2026年1月19日まで

秋田大学医学部附属病院看護部、X・Instagram もご確認ください

編集
後記

今年度第2号の「看護あきた」を無事に発行することができました。去年より引き続き広報委員会を担当し、今年で2年目となりました。今後も委員一同力を合わせて有益な情報を提供できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

記：広報委員 高橋 廣毅